

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	川崎一泰		
NAME	Kazuyasu Kawasaki		

## 1. 研究課題

（和文）公益事業の経営管理と公民連携の方向性

（英文）Management practice of public utilities and direction of PPP

## 2. 研究期間

2年間（2020-2021年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

日本では少子高齢化が進む中、高度経済成長期につくられたインフラの老朽化が大きな課題となっている。本研究では、こうした日本の状況で効率的なインフラ活用を図る手法と運営方法を探ることを目的としたものである。具体的な研究内容としては、インフラの効率的利用のための経済モデルの構築、経営管理を通じた効率化の検証モデルの検証、政策効果の検証モデルの構築を行った。

第一のインフラの効率利用に関しては、水道事業を題材とし、人口密度とコストの関係を明らかにし、持続可能な料金体系を示すとともに街づくりを通じて料金を引き下げる方策を示した。政策的な示唆としては、広域化で規模の経済を追求するよりも、都市計画におけるダウンゾーニング(市街化区域の縮小)を通じた都市のコンパクト化の方が有効であることを指摘できた。

第二の経営管理に関する研究では、バス事業を題材とし、統計モデル分析を試みた。研究の結果、官民の経営主体の問題ではなく、適正な経営管理により経営の安定化を図ることができることを示した。

第三に保育事業を題材に教育無償化が女性の労働供給に与える影響を分析した。

これらの研究成果の一部を国内学会及び国際学会において発表をし、学会誌に一部掲載された。

（英文）

Many infrastructures created during the period of rapid economic growth become decrepit in Japan. This paper search how we use and handle these infrastructures, suggest methods of efficient investment. We consider an example of water, bus, and childcare project. We created some economic model for measuring an effect of policy and management practice, analyze these projects.